

令和8年度ネットリサーチ「歩行者の交通事故防止対策」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- ・ ハンドサイン運動を「よく知っている」が16.8%、「聞いたことがある」が29.7%となっている一方、「知らない」が53.5%となっている。
- ・ 「ハンドサイン運動を知っていて、いつもしている」(4.6%)、「ハンドサイン運動は知らないが、いつもしている」(1.2%)、「ハンドサイン運動を知っていて、ときどきしている」(12.5%)、「ハンドサイン運動を知らないが、ときどきしている」(4.6%)を合わせた【ハンドサインをしている】が22.9%となっている。一方で、「ハンドサイン運動を知っているが、していない」(29.4%)と「ハンドサイン運動を知らず、していない」(47.7%)を合わせた【ハンドサインをしていない】が77.1%となっている。
- ・ 「横断歩道の手前で必ず停止する」(40.7%)、「横断歩道の手前で停止するときが多い」(32.2%)を合わせた【停止する】が72.9%となっている。一方で、「横断歩道の手前で停止しないときが多い」(7.4%)、「停止しないで通過する」(2.5%)を合わせた【停止しない】が9.9%となっている。

■調査結果の概要

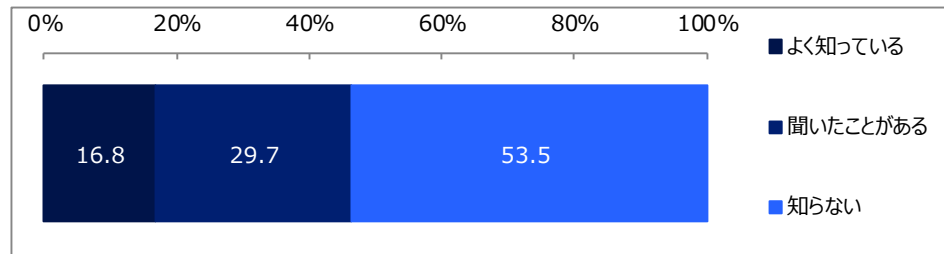
1 ハンドサイン運動の認知度

☆ 「よく知っている」が16.8%、「聞いたことがある」が29.7%となっている。

☆ 一方で、「知らない」が53.5%となっている。

Q1.信号機のない横断歩道を渡る際、手をあげるなど合図を行う「ハンドサイン運動」を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
よく知っている	16.8	168
聞いたことがある	29.7	297
知らない	53.5	535



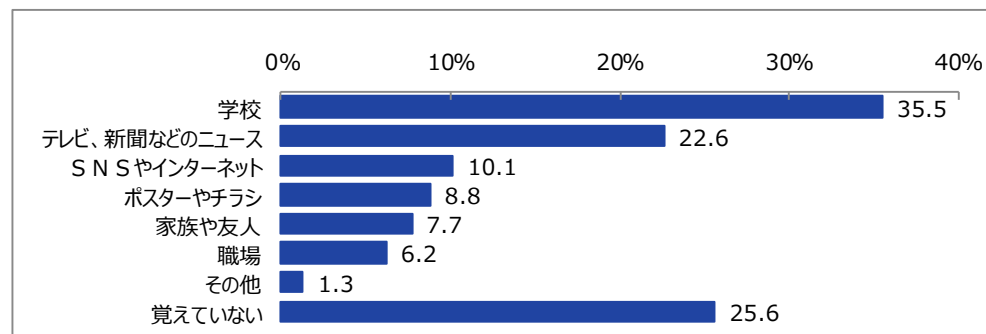
2 ハンドサイン運動の認知経路

☆ 「学校」が35.5%で最も高く、「テレビ、新聞などのニュース」が22.6%、「SNSやインターネット」が10.1%と続く。

(Q1で「よく知っている」「聞いたことがある」と回答された方へ)

Q2.ハンドサイン運動をどこで知りましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	465
学校	35.5	165
テレビ、新聞などのニュース	22.6	105
S N Sやインターネット	10.1	47
ポスターやチラシ	8.8	41
家族や友人	7.7	36
職場	6.2	29
その他	1.3	6
覚えていない	25.6	119



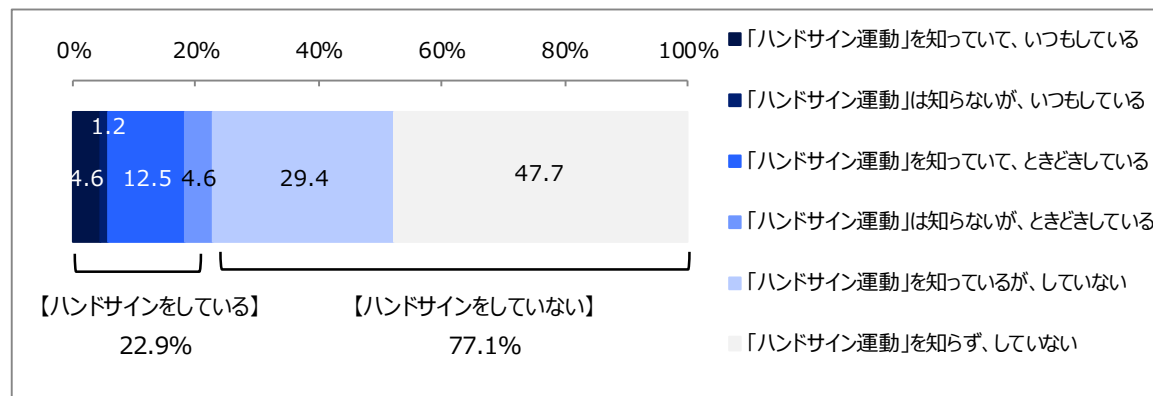
3 信号機のない横断歩道を渡る際の行動（横断前）

☆ 「ハンドサイン運動を知っていて、いつもしている」(4.6%)、「ハンドサイン運動は知らないが、いつもしている」(1.2%)、「ハンドサイン運動を知っていて、ときどきしている」(12.5%)、「ハンドサイン運動を知らないが、ときどきしている」(4.6%)を合わせた【ハンドサインをしている】が22.9%となっている。

☆ 一方で、「ハンドサイン運動を知っているが、していない」(29.4%)と「ハンドサイン運動を知らず、していない」(47.7%)を合わせた【ハンドサインをしていない】が77.1%となっている。

Q3.信号機のない横断歩道を渡る際、手をあげるなどハンドサインをしていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
「ハンドサイン運動」を知っていて、いつもしている	4.6	46
「ハンドサイン運動」は知らないが、いつもしている	1.2	12
「ハンドサイン運動」を知っていて、ときどきしている	12.5	125
「ハンドサイン運動」は知らないが、ときどきしている	4.6	46
「ハンドサイン運動」を知っているが、していない	29.4	294
「ハンドサイン運動」を知らず、していない	47.7	477

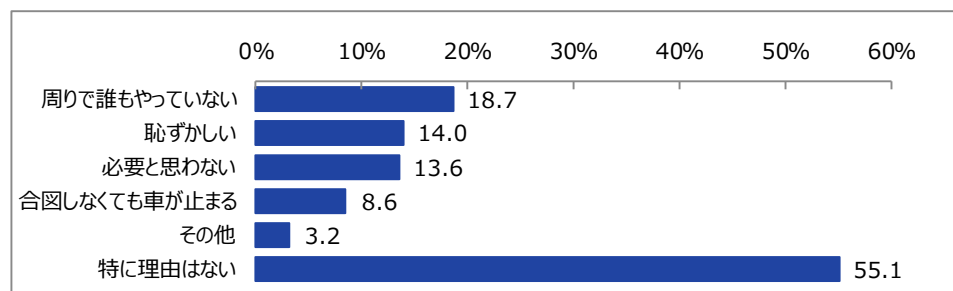


4 ハンドサインをしない理由

- ☆ 「周りで誰もやっていない」が18.7%で最も多く、「恥ずかしい」が14.0%、「必要と思わない」が13.6%と続く。
- ☆ 一方で、「特に理由はない」が55.1%となっている。

Q4.手をあげるなどハンドサインをしていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

	%	n
全体	100.0	771
周りで誰もやっていない	18.7	144
恥ずかしい	14.0	108
必要と思わない	13.6	105
合図しなくても車が止まる	8.6	66
その他	3.2	25
特に理由はない	55.1	425

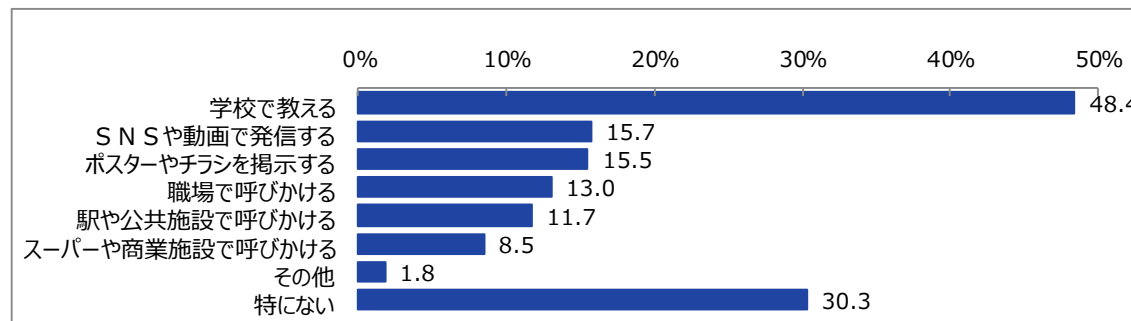


5 ハンドサイン運動の効果的な普及方法

- ☆ 「学校で教える」が48.4%で最も多く、「SNSや動画で発信する」が15.7%、「ポスターやチラシを掲示する」が15.5%と続く。

Q5.ハンドサイン運動を広く普及させるために効果的だと思う方法はなんですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
学校で教える	48.4	484
S N Sや動画で発信する	15.7	157
ポスターやチラシを掲示する	15.5	155
職場で呼びかける	13.0	130
駅や公共施設で呼びかける	11.7	117
スーパーや商業施設で呼びかける	8.5	85
その他	1.8	18
特にない	30.3	303

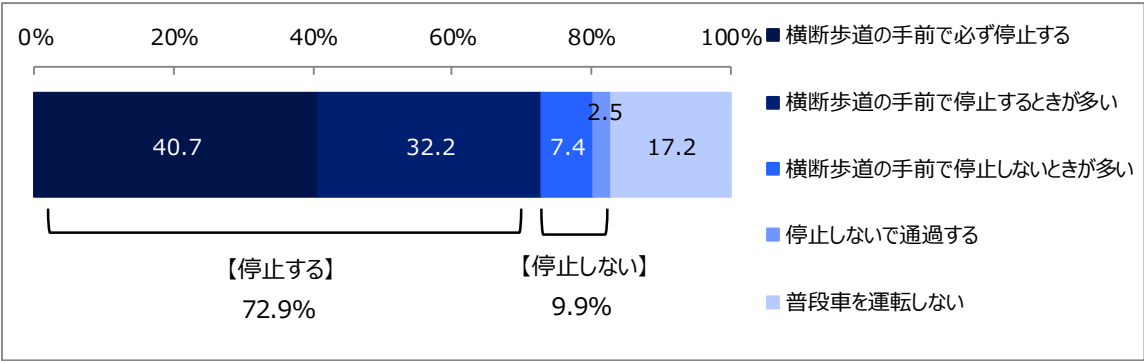


6 信号機のない横断歩道での停止状況

- ◇ 「横断歩道の手前で必ず停止する」(40.7%)、「横断歩道の手前で停止するときに多い」(32.2%)を合わせた【停止する】が72.9%となっている。
- ◇ 一方で、「横断歩道の手前で停止しないときに多い」(7.4%)、「停止しないで通過する」(2.5%)を合わせた【停止しない】が9.9%となっている。

Q6.あなたが車を運転しているとき、横断歩道付近に歩行者がいたらどうしますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
横断歩道の手前で必ず停止する	40.7	407
横断歩道の手前で停止するときに多い	32.2	322
横断歩道の手前で停止しないときに多い	7.4	74
停止しないで通過する	2.5	25
普段車を運転しない	17.2	172



■調査の目的

県警では歩行者の交通事故防止対策として「ハンドサイン運動」を展開しており、引き続き県警で取り組んでいる交通事故防止対策の効果検証・企画立案に活用するため。

■実施概要

- ・実施期間：令和8年8月21日～8月28日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和7年10月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

		回答者数（人）					
		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		109	247	93	363	188	1,000
性別	男性	56	128	50	187	100	521
	女性	53	119	43	176	88	479
年代別	18～29歳	17	43	16	72	35	183
	30歳代	15	41	16	61	29	162
	40歳代	21	52	19	78	39	209
	50歳代	28	61	22	85	45	241
	60歳代	28	50	20	67	40	205

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡
県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡
鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

- (注)
1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
 2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
 3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
 4. 全ての地域で18～29歳のサンプル数が目標値（上記の件数）を下回ったため、下記のとおり超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。
「県北／男性／18～29歳」1サンプル不足 ⇒同地域・同性30代より1サンプル超過回収
「県央／男性／18～29歳」4サンプル不足 ⇒同地域・同性30代より2サンプル、40代より2サンプル超過回収
「鹿行／男性／18～29歳」8サンプル不足 ⇒同地域・同性40代より5サンプル、50代より3サンプル超過回収
「県南／男性／18～29歳」13サンプル不足 ⇒同地域・同性30代より5サンプル、40代より8サンプル超過回収
「県西／男性／18～29歳」3サンプル不足 ⇒同地域・同性30代より2サンプル、40代より1サンプル超過回収
「県西／女性／18～29歳」3サンプル不足 ⇒同地域・同性30代より2サンプル、40代より1サンプル超過回収